

2013年9月30日  
日立アプライアンス株式会社

## 清潔さにこだわった「ステンレス・クリーン システム」を新搭載 加湿空気清浄機「ステンレス・クリーン クリエア」を発売



EP-JV700 スモークグレー(XH)

日立アプライアンス株式会社(取締役社長:二宮 隆典)は、空気清浄機内部の清潔さにこだわり、除菌(\*1)効果があるステンレスを使用した「ステンレス・クリーン システム」搭載の加湿空気清浄機「ステンレス・クリーン クリエア」EP-JV700を10月19日から発売します。

本製品は、当社ルームエアコン(\*2)で採用しているステンレスと同様の除菌効果があるステンレスを、プレフィルターや脱臭フィルター、フラップ、吹出口に使用した「ステンレス・クリーン システム」を搭載しています。「ステンレスプレフィルター」は、付着した油煙を含んだほこりも、ステンレスの効果により掃除機をかけるだけできれいに取れます。さらに、加湿用の透明な給水タンクは、中まで手が届く「洗える広口タンク」を採用し、より清潔で手入れがしやすくなっています。

また、光触媒の効果で脱臭力が長持ちする「光アクティブ脱臭」を継続採用しています。高い脱臭効果を発揮する「光アクティブ脱臭&ステンレスフィルター」を使用して、11種類のニオイ成分(\*3)に加え、4種類のVOC(\*4)も低減します。さらに、微細な粒子をしっかりと捕集してアレル物質の活動も抑制(\*5)する「アレルオフ微細じんHEPAフィルター」を採用しており、本製品は「PM2.5」にも対応(\*6)しています。

なお本製品に加えて、除湿・加湿空気清浄機「ステンレス・クリーン クリエア」EP-JV1000 や、加湿空気清浄機「リエア」EP-JV600、空気清浄機「リエア」EP-JZ30 の3機種も同時発売します。

(\*1) 空気清浄機から出る空気をすべて除菌しているわけではありません。詳細はp.3の(\*1)参照。

(\*2) 「ステンレス・クリーン 白くまくん」Zシリーズ(2013年度発売モデル)。

(\*3) 1m<sup>3</sup>の試験容器内での試験結果であり、実使用空間での脱臭性能とは異なります。詳細はp.4の(\*6)参照。

(\*4) VOCとは、常温常圧で容易に揮発する有機化学物質の総称です。詳細はp.4の(\*7)参照。

(\*5) 捕集したスギ、カバノキ、ブタクサ花粉、ダニのフン、ネコのフケに対する抑制効果。詳細はp.5の(\*11)参照。

(\*6) 0.1~2.5 $\mu$ mの粒子を99%キャッチ。換気等による屋外からの新たな粒子の侵入は考慮しておりません。PM2.5とは2.5 $\mu$ m以下の微小粒子状物質の総称です。0.1 $\mu$ m未満の微小粒子状物質については、除去の確認ができていません。また、空気中の有害物質のすべてを除去できるものではありません。32m<sup>3</sup>(約8畳)の密閉空間での効果であり、実使用空間での結果ではありません。試験方法:詳細はp.5の(\*8)参照。

### ■新製品の主な特長<加湿空気清浄機「ステンレス・クリーン クリエア」EP-JV700>

1. 清潔さにこだわった「ステンレス・クリーン システム」を新搭載 **New**
2. 光触媒の効果で脱臭力が長持ちする「光アクティブ脱臭」を継続採用
3. 「アレルオフ微細じん HEPA フィルター」などで高い集じん力を実現、「PM2.5」にも対応

## ■型式および発売日

型式	適用床面積	加湿機能	除湿機能	本体希望小売価格	発売日	当初月産台数
EP-JV1000	～25畳	あり	あり	オープン価格	10月19日	3,000台
EP-JV700	～24畳		なし			5,000台
EP-JV600		なし	4,000台			
EP-JZ30	～15畳	なし	8,000台			

## ■需要動向と開発の背景

2013年度の空気清浄機の総需要は、前年度を上回る約320万台(前年比107%)で推移すると見込まれています。その内、加湿空気清浄機が全体の約89%(台数ベース)を占める見込みです(当社調べ)。

当社は、空気清浄機内部の清潔さにこだわり、除菌効果があるステンレスを使用した「ステンレス・クリーンシステム」を新たに搭載した製品を開発しました。油煙を含んだほこりも、ステンレスの効果で掃除機をかけるだけできれいに取れるほか、各部に使用したステンレスが除菌効果を発揮します。

## ■お客様からの問い合わせ先

お客様相談センター 電話 0120-3121-11 (フリーコール)

受付時間：9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日・祝日)【年末年始を除く】

## ■空気清浄機ホームページ

<http://kadenfan.hitachi.co.jp/airclean>

以上

(添付資料)

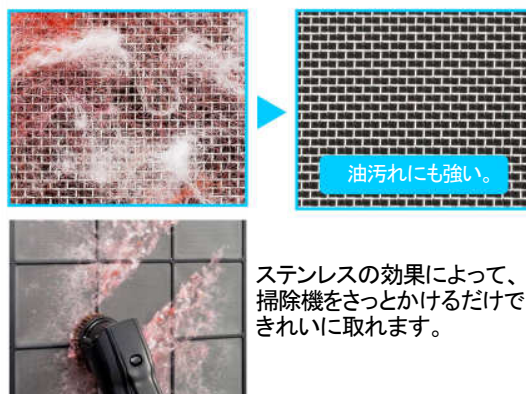
## ■加湿空気清浄機「ステンレス・クリーン クリエア」EP-JV700 の詳細説明

### 1. 清潔さにこだわった「ステンレス・クリーン システム」を新搭載

本製品は、空気清浄機内部の清潔さにこだわり、プレフィルターや脱臭フィルター、フラップ、吹出口に除菌<sup>(\*)1</sup>効果があるステンレスを使用した「ステンレス・クリーン システム」を新たに搭載しています(図1)。



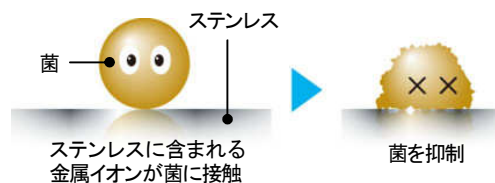
[図1 ステンレス・クリーン システム]



※イメージ図

[図2 掃除前後の比較<sup>(\*)2</sup>]

プレフィルターは、ステンレスをコーティングしたことで、従来のプレフィルターでは取れにくかった油煙を含んだほこりも、掃除機をさっとかけるだけできれいに取れて、手入れの手間を軽減します(図2)。また、各部に使用しているステンレスに菌が接触すると、ステンレスに含まれている金属イオンにより菌を抑制します(図3)。



※イメージ図

[図3 ステンレスで除菌]

このほかにも、清潔さにこだわった機能を採用しています。風を送り出す「銀イオンファン」や、加湿フィルター、水トレイに抗菌加工<sup>(\*)3</sup>を施しています。さらに、加湿用の給水タンクには、中まで手が入る「洗える広口タンク」を採用しています。また、給水栓の下に立てて給水しやすい自立式や、水の残量が見えて使いやすい透明タンクで、より清潔で手入れがしやすくなっています(図4)。



[図4 清潔さにこだわった機能]

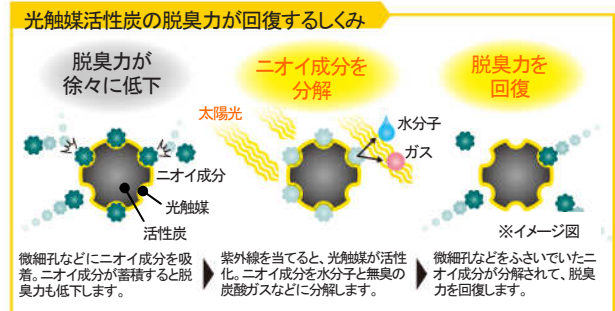
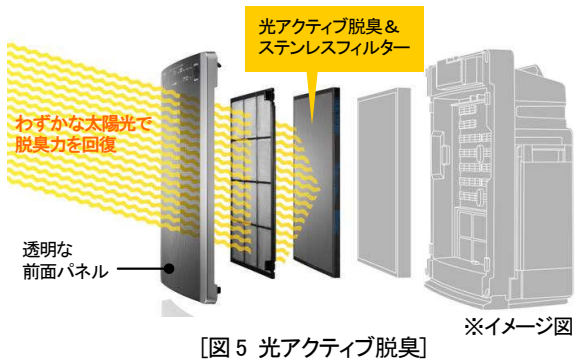
(\*)1 空気清浄機から出る空気をすべて除菌しているわけではありません。①ステンレスプレフィルター、②光アクティブ脱臭&ステンレスフィルター、③ステンレスフラップ、④ステンレスネット(吹出口)の除菌効果 ●試験機関:①~③一般財団法人 ボーケン品質評価機構④一般財団法人 北里環境科学センター ●試験方法:JIS Z 2801(フィルム密着法) ●対象:付着菌 ●試験結果:24時間で99%の除菌効果。

(\*)2 当社調べ。写真はステンレスプレフィルターに3カ月相当の油煙を含んだほこりを付着させ、日立クリーナーCV-SY7000(吸込仕事率470W)にて清掃しています。

(\*)3 空気清浄機から出る空気や、加湿用の水への抗菌効果ではありません。①銀イオンファン、②加湿フィルター、③水トレイの抗菌効果 ●試験機関:一般財団法人ボーケン品質評価機構 ●試験方法:①③JIS Z 2801(フィルム密着法)②JIS L1902 ●対象:付着菌 ●試験結果:抗菌活性値①5.1②5.8③4.5。(抗菌活性値が2.0以上で抗菌効果があるとされています)

## 2. 光触媒の効果で脱臭力が長持ちする「光アクティブ脱臭」を継続採用

本製品は、脱臭力が長持ちする日立独自の「光アクティブ脱臭」を継続採用しています(図5)。本体に装着した脱臭フィルター「光アクティブ脱臭&ステンレスフィルター」の光触媒活性炭は、透明な前面パネルから採り入れた反射・拡散したわずかな太陽光によって光触媒を活性化し、吸着したニオイ成分を分解して脱臭力が回復します<sup>(\*4)(\*5)</sup>(図6)。



### ■ 10年後のフィルター脱臭性能の比較

	初期	10年後相当(試算)
EP-GV65(2011年度モデル)	約96% <sup>(*4)</sup>	約52%
EP-JV700		約70% <sup>(*5)</sup>

【図6 光触媒活性炭の脱臭力が回復するしくみ】

また脱臭フィルターには、光触媒活性炭に加えて、活性炭やゼオライトの3種類の脱臭素材を配合しているため、高い脱臭効果を発揮します。4大臭気とされるチツ素系や硫黄系、アルデヒド系、酸系を含む11種類のニオイ成分<sup>(\*6)</sup>に加えて、4種類のVOC<sup>(\*7)</sup>の低減にも効果があります(図7)。

さらに、食卓での焼肉や鍋料理など、ニオイが一時的に多く出る時には「快速」コース、生ゴミや排水口、ペットなどから常時発生し続けるニオイを抑えるには「いつも」コースなど、ニオイの発生状況に合わせて選べる2つの脱臭コースを引き続き搭載しています。



【図7 11種類のニオイ成分・4種類のVOC】

(\*4) 日本電機工業会規格(JEM1467)に準拠した脱臭性能試験結果。詳細はp.6の(\*2)参照。

(\*5) 1日5時間の日照(「光アクティブ脱臭&ステンレスフィルター」表面における紫外線強度:3μW/cm<sup>2</sup>)を想定し、10年後を推定した値。日照時間の違いや、ニオイの種類・量によって回復効果は異なります。※脱臭性能はご使用により低下します。

(\*6) 1m<sup>3</sup>の試験容器内での試験結果であり、実使用空間での脱臭性能とは異なります。

「光アクティブ脱臭&ステンレスフィルター」の1m<sup>3</sup>試験容器内での臭気成分単体の脱臭試験結果。当社試験による。回復効果については(\*4)の脱臭性能試験の結果とは異なります。アンモニア、トリメチルアミン、アセトアルデヒド、酢酸については25m<sup>3</sup>の試験空間でもニオイ低減効果を確認しています。

(\*7) VOCとは、常温常圧で容易に揮発する有機化学物質の総称です。●ホルムアルデヒド:日本電機工業会自主基準(HD-103)に準拠し、6畳相当の部屋で当社試験の結果、初期濃度2ppmから0.08ppmまでの到達時間は約240分(EP-JV700)、約180分(EP-JV1000、EP-JV600)。ホルムアルデヒドの室内濃度の厚生労働省指針値およびWHO勧告値は0.08ppm以下です。キシレン、トルエン、ベンゼンについても6畳相当の部屋で当社試験の結果、一定の濃度低減効果を確認しています。それ以外のVOCについては確認していません。



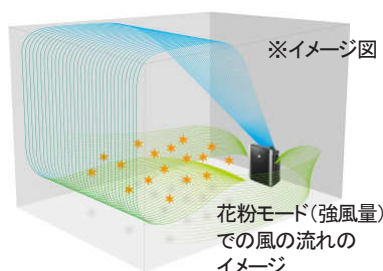
### 3. 「アレルオフ微細じん HEPA フィルター」などで高い集じん力を実現、「PM2.5」にも対応<sup>(※8)</sup>

微細な粒子もしっかり捕集する「アレルオフ微細じんHEPAフィルター」を継続して採用しています。これにより、0.3 $\mu\text{m}$ の微粒子を99.97%以上<sup>(※9)</sup>捕集する高い集じん力で、花粉はもちろん、ダニのフンや死がい、浮遊カビ、浮遊ウイルス・細菌も捕集<sup>(※10)</sup>します。また、本製品は「PM2.5」にも対応しています。さらに、アレルオフ成分が捕集したスギ、カバノキ、ブタクサの花粉、ダニのフン、ネコのフケなどのアレル物質の活動を抑制<sup>(※11)</sup>します。

加えて、浮遊する花粉を効果的に捕集する「花粉モード」を引き続き搭載しています。新しく、角度が調整できる手動フラップ(図8)により airflow を斜めにし、床上付近に漂う花粉の捕集効果を高めます(図9)。また、1時間ごとに強風量での強制循環を行い、部屋の空気を見張ります。



【図8 斜め airflow 用フラップ】



【図9 「花粉モード」の風の流れ】

(※8) 0.1~2.5 $\mu\text{m}$  の粒子を 99% キャッチ。換気等による屋外からの新たな粒子の侵入は考慮しておりません。PM2.5 とは 2.5 $\mu\text{m}$  以下の微小粒子状物質の総称です。0.1 $\mu\text{m}$  未満の微小粒子状物質については、除去の確認ができていません。また、空気中の有害物質のすべてを除去できるものではありません。32 $\text{m}^3$ (約 8 畳)の密閉空間での効果であり、実使用空間での結果ではありません。●試験方法: 日本電機工業会自主基準(HD-128) ●判定基準: 0.1~2.5 $\mu\text{m}$  の微小粒子状物質を 32 $\text{m}^3$ (約 8 畳)の密閉空間で 99% 除去する時間が 90 分以内であること。32 $\text{m}^3$ (約 8 畳)の試験空間に換算した値です。

(※9) 定格風量で 0.3 $\mu\text{m}$  の微粒子を 99.97% 以上集じん。JIS Z 8122 に規定された HEPA フィルター単体での性能であり、部屋全体の除去性能とは異なります。

(※10) 25 $\text{m}^3$ (約 6 畳)の試験空間での 25 分後の浮遊ウイルス/浮遊細菌への効果であり、実使用空間での実証結果ではありません。ご使用の状況や使い方によって効果は異なります。試験は日本電機工業会自主基準(HD-124)に準拠しています。

ウイルス/細菌の捕集効果 ●試験機関: 財団法人 北里環境科学センター ●試験方法: 25 $\text{m}^3$ (約 6 畳)の試験空間で、ウイルスは日本電機工業会自主基準(HD-124)の性能評価試験にて実施。細菌も同試験に準拠。●対象: 浮遊した 1 種類のウイルス/浮遊した 1 種類の細菌 ●試験結果: 25 分で 99% 以上捕集 ●試験機種: EP-JV700(ターボ風量時)

(※11) 捕集したスギ、カバノキ、ブタクサ花粉、ダニのフン、ネコのフケに対する抑制効果 ●試験機関: ニチニチ製薬株式会社 ●試験方法: ELISA 法 ●試験結果: スギ 96% 抑制、カバノキ 90% 抑制、ブタクサ 96% 抑制、コナヒョウヒダニのフン 93% 抑制、ヤケヒョウヒダニのフン 91% 抑制、ネコのフケ 85% 抑制。数値は当社算出による。

### 4. パワフルなターボ風量時でもやさしい運転音

最もパワフルなターボ風量時でも 48dB と、運転音を抑えた設計としています。静風量時は 15dB と、就寝時などにも気になりにくいやさしい運転音を実現しています。

### 5. 「[eco]節電運転」<sup>(※12)</sup>により消費電力量を低減

「[eco]節電運転」に設定すれば、通常の自動運転に比べて、消費電力量は最大約 21%<sup>(※13)</sup>低減します。なお、「[eco]節電運転」中に空気が汚れた場合は、自動運転に切り替わります。

(※12) 空気の汚れ具合により、消費電力量の低減度は変わります。また、空気の汚れ具合や湿度の変化への反応が、通常運転に比べて遅れる場合があります。脱臭コース、一発ターボとは同時に使用できません。

(※13) 空清運転モードでの自動運転と「[eco]節電運転」での消費電力量の比較。自動運転: 5.09Wh、「[eco]節電運転」: 4.03Wh。当社試験による。

## ■除湿・加湿空気清浄機「ステンレス・クリーン クリエア」EP-JV1000の詳細説明

### 1. 清潔にこだわった「ステンレス・クリーン システム」を新搭載

EP-JV1000(図 1)は、プレフィルターやフラップ、吹出口に除菌<sup>(\*)1</sup>効果があるステンレスを使用した「ステンレス・クリーン システム」を新たに搭載しています。プレフィルターは、ステンレスをコーティングしたことで、ほこりも取れやすく手入れの手間を軽減します。



ホワイト(W)

【図 1 EP-JV1000】

### 2. 空気清浄しながら除湿も加湿もできる

加湿機能や除湿機能を継続搭載し、空気清浄しながら梅雨時の湿気対策や冬期などの乾燥・結露対策、衣類の乾燥などが本製品 1 台で行なえ、1 年を通して様々なシーンで活躍します。

### 3. 「トリプルパワー脱臭フィルター」で多様なニオイをしっかりキャッチ

活性炭やゼオライト、触媒式活性炭の 3 種類の脱臭素材を配合した「トリプルパワー脱臭フィルター」を継続して採用し、初期の脱臭性能は約 96%<sup>(\*)2</sup>を実現しています。また、11 種類のニオイ成分<sup>(\*)3</sup>と 4 種類の VOC<sup>(\*)4</sup>を低減し、高い脱臭性能を発揮します。

### 4. 「アレルオフ微細じん HEPA フィルター」などで高い集じん力を実現、「PM2.5」にも対応<sup>(\*)5</sup>

微細な粒子をしっかり捕集し、捕集したアレル物質の活動を抑制<sup>(\*)6</sup>する「アレルオフ微細じん HEPA フィルター」を継続採用しています。HEPA フィルターの採用により 0.3 $\mu\text{m}$  の微粒子を 99.97% 以上捕集する<sup>(\*)7</sup>高い集じん力を発揮します。また、フラップの角度を自動で調整して気流を斜めに吹き出し、浮遊する花粉を効果的に捕集・抑制する「花粉モード」も引き続き搭載しています。また、本製品は「PM2.5」にも対応しています。

### 5. その他の特長

運転音を抑え、ターボ風量時で 48dB、静風量時は 14dB としています。また、「[eco]節電運転」<sup>(\*)8</sup>に設定すれば最大で約 22% <sup>(\*)9</sup>節約になります。

(\*)1 空気清浄機から出る空気をすべて除菌しているわけではありません。①ステンレスプレフィルター、②ステンレスフラップ、③ステンレスネット(吹出口)の除菌効果 ●試験機関:①②一般財団法人 ボーケン品質評価機構③一般財団法人 北里環境科学センター ●試験方法:JIS Z 2801(フィルム密着法) ●対象:付着菌 ●試験結果:24 時間で 99%の除菌効果。

(\*)2 日本電機工業会規格(JEM1467)に準拠した脱臭性能試験結果。1 $\text{m}^3$ の試験容器内でタバコ5本を燃焼させて、定格風量で1分間運転した後のアンモニア、アセトアルデヒド、酢酸の総合除去率です。1 $\text{m}^3$ の試験容器内での試験結果であり、実使用空間での脱臭性能とは異なります。当社調べ。

(\*)3 1 $\text{m}^3$ の試験容器内での試験結果であり、実使用空間での脱臭性能とは異なります。「トリプルパワー脱臭フィルター」の1 $\text{m}^3$ 試験容器内での臭気成分単体の脱臭試験結果。当社試験による。アンモニア、トリメチルアミン、アセトアルデヒド、酢酸については25 $\text{m}^3$ の試験空間でもニオイ低減効果を確認しています。

(\*)4 VOC とは、常温常圧で容易に揮発する有機化学物質の総称です。詳細は p.4 の<sup>(\*)7</sup>参照。

(\*)5 0.1~2.5 $\mu\text{m}$ の粒子を99%キャッチ。換気等による屋外からの新たな粒子の侵入は考慮しておりません。PM2.5とは2.5 $\mu\text{m}$ 以下の微小粒子状物質の総称です。0.1 $\mu\text{m}$ 未満の微小粒子状物質については、除去の確認ができていません。また、空気中の有害物質のすべてを除去できるものではありません。32 $\text{m}^3$ (約8畳)の密閉空間での効果であり、実使用空間での結果ではありません。試験方法:詳細はp.5の<sup>(\*)8</sup>参照。

(\*)6 捕集したスギ、カバノキ、ブタクサ花粉、ダニのフン、ネコのフケに対する抑制効果 ●試験機関:ニチニチ製薬株式会社 ●試験方法:ELISA法 ●試験結果:スギ96%抑制、カバノキ90%抑制、ブタクサ96%抑制、コナヒョウヒダニのフン93%抑制、ヤケヒョウヒダニのフン91%抑制、ネコのフケ85%抑制。数値は当社算出による。

(\*)7 JIS Z 8122 に規定された HEPA フィルター単体の性能であり、部屋全体の除去性能とは異なります。詳細は p.5 の<sup>(\*)9</sup>参照。

(\*)8 空気の汚れ具合により、消費電力量の低減度は変わります。詳細は p.5 の<sup>(\*)12</sup>参照。

(\*)9 空清運転モードでの自動運転と「[eco]節電運転」との消費電力量の比較。自動運転:4.02Wh、「[eco]節電運転」:3.13Wh。当社試験による。

## ■加湿空気清浄機「クリア」EP-JV600の詳細説明

### 1. 「トリプルパワー脱臭フィルター」で多様なニオイや花粉などをしっかりキャッチ

EP-JV600(図 1)でも、「トリプルパワー脱臭フィルター」を継続採用し、初期の脱臭性能は約 96%<sup>(\*)1</sup>を実現しています。また、11 種類のニオイ成分<sup>(\*)2</sup>と 4 種類の VOC<sup>(\*)3</sup>を低減し、高い脱臭性能を発揮します。



【図 1 EP-JV600】

### 2. 「アレロフ微細じん HEPA フィルター」などで高い集じん力を実現、「PM2.5」にも対応<sup>(\*)4</sup>

微細な粒子をしっかり捕集し、アレロ物質の活動を抑制<sup>(\*)5</sup>する「アレロフ微細じん HEPA フィルター」を継続採用しています。0.3 $\mu\text{m}$ の微粒子を99.97%以上捕集する<sup>(\*)6</sup>高い集じん力を発揮します。また、ルーバーを新たに搭載し、気流を斜めにする事で床上付近に漂う花粉の捕集効果を高めています。また、本製品は「PM2.5」にも対応しています。

### 3. インテリアに合わせて選べるホワイト(W)、ブラウン(T)の 2 色を展開

### 4. 使いやすい透明な給水タンクでより清潔に

加湿用の給水タンクには、中まで手が入る「洗える広口タンク」を新採用しています。また、給水栓の下に立てて給水しやすい自立式や、水の残量が見えて使いやすい透明タンクで、より清潔で手入れがしやすくなっています。また、加湿フィルターに加え、新たに水トレイにも抗菌加工<sup>(\*)7</sup>を施し、加湿時の清潔さにもこだわっています。

### 5. その他の特長

運転音を抑え、ターボ風量時で 48dB、静風量時は 15dB としています。また、「[eco]節電運転」<sup>(\*)8</sup>に設定すれば最大で約 20%<sup>(\*)9</sup>節約になります。

(\*)1 日本電機工業会規格(JEM1467)に準拠した脱臭性能試験結果。1m<sup>3</sup>の試験容器内でタバコ5本を燃焼させて、定格風量で1分間運転した後のアンモニア、アセトアルデヒド、酢酸の総合除去率です。1m<sup>3</sup>の試験容器内での試験結果であり、実使用空間での脱臭性能とは異なります。当社調べ。

(\*)2 1m<sup>3</sup>の試験容器内での試験結果であり、実使用空間での脱臭性能とは異なります。  
「トリプルパワー脱臭フィルター」の1m<sup>3</sup>試験容器内での臭気成分単体の脱臭試験結果。当社試験による。アンモニア、トリメチルアミン、アセトアルデヒド、酢酸については25m<sup>3</sup>の試験空間でもニオイ低減効果を確認しています。

(\*)3 VOCとは、常温常圧で容易に揮発する有機化学物質の総称です。詳細は p.4 の(\*)7参照。

(\*)4 0.1~2.5 $\mu\text{m}$ の粒子を99%キャッチ。換気等による屋外からの新たな粒子の侵入は考慮しておりません。PM2.5とは2.5 $\mu\text{m}$ 以下の微小粒子状物質の総称です。0.1 $\mu\text{m}$ 未満の微小粒子状物質については、除去の確認ができていません。また、空気中の有害物質のすべてを除去できるものではありません。32m<sup>3</sup>(約8畳)の密閉空間での効果であり、実使用空間での結果ではありません。試験方法:詳細はp.5の(\*)8参照。

(\*)5 捕集したスギ、カバノキ、ブタクサ花粉、ダニのフン、ネコのフケに対する抑制効果 ●試験機関:ニチニチ製薬株式会社 ●試験方法: ELISA法 ●試験結果:スギ96%抑制、カバノキ90%抑制、ブタクサ96%抑制、コナヒョウヒダニのフン93%抑制、ヤケヒョウヒダニのフン91%抑制、ネコのフケ85%抑制。数値は当社算出による。

(\*)6 定格風量で0.3 $\mu\text{m}$ の微粒子を99.97%以上集じん。JIS Z 8122に規定されたHEPAフィルター単体での性能であり、部屋全体の除去性能とは異なります。

(\*)7 加湿用の水への抗菌効果ではありません。詳細は p.3 の(\*)3参照。

(\*)8 空気の汚れ具合により、消費電力量の低減度は変わります。詳細はp.5の(\*)12参照。

(\*)9 空清運転モードでの自動運転と「[eco]節電運転」との消費電力量の比較。自動運転:5.02Wh、「[eco]節電運転」:4.01Wh。当社試験による。

■新製品の主な仕様

型式	EP-JV1000			EP-JV700		EP-JV600		EP-JZ30
タイプ	除湿・加湿空気清浄機 (床置き)			加湿空気清浄機 (床置き・卓上兼用)				空気清浄機 (床置き・卓上兼用)
清浄時間	8畳なら11分			8畳なら12分				8畳なら18分
風量(m³/分)(50/60Hz)	6.5			6.0		6.3		3.2/3.3
適用床面積の目安	空気清浄	加湿	除湿	空気清浄	加湿	空気清浄	加湿	空気清浄
	～25畳 (41m²)	[木造] ～8.5畳 (14m²)	[木造] ～8畳 (13m²)	～24畳 (40m²)	[木造] ～10畳 (17m²)	～24畳 (40m²)	[木造] ～10畳 (17m²)	～15畳 (25m²)
		[プレハブ] ～14畳 (23m²)	[プレハブ] ～12畳 (20m²)		[プレハブ] ～17畳 (27m²)		[プレハブ] ～17畳 (27m²)	
		[鉄筋 洋室] ～16畳 (26m²)						
加湿	方式	気化式						—
	最大 加湿量(mL/時)	約540			約630			—
除湿	方式	デシカント方式		—				
	最大 除湿能力(L/日)	約6.5		—				
ステンレス・クリーン システム		○				—		
フィルター	プレフィルター	ステンレスプレフィルター				洗えるプレフィルター		
	脱臭	トリプルパワー 脱臭フィルター		光アクティブ脱臭& ステンレスフィルター		トリプルパワー 脱臭フィルター		アレルオフ フィルター
	集じん	アレルオフ微細じん HEPA フィルター						
「PM2.5」への対応 <sup>(*)1</sup>		○						
花粉モード		花粉						—
脱臭コース		快速・いつも						—
その他の運転モード		空清・加湿・肌保湿・除湿 衣類乾燥・結露セーブ			空清・加湿・肌保湿			空清・脱臭・ ひかえめ
その他の主な機能		[eco]節電運転・セルフ乾燥			[eco]節電運転			—
運転音 (dB) (50/60Hz)	ターボ風量時	48						46/49
	静風量時	14		15			19/17	
消費電力(W)(50/60Hz)		56			53			38/41
本体寸法 高さ×幅×奥行(mm)		648×398×293			584×430×268		584×430×273	424×400×133
本体質量(kg)		16.0			10.0			4.0
本体色		ホワイト(W)			スモークグレー(XH)		ホワイト(W) ブラウン(T)	ホワイト(W)

(\*)1 0.1～2.5μmの粒子を99%キャッチ。換気等による屋外からの新たな粒子の侵入は考慮しておりません。PM2.5とは2.5μm以下の微小粒子状物質の総称です。0.1μm未満の微小粒子状物質については、除去の確認ができていません。また、空気中の有害物質のすべてを除去できるものではありません。32m³(約8畳)の密閉空間での効果であり、実使用空間での結果ではありません。試験方法: 日本電機工業会自主基準(HD-128) ●判定基準: 0.1～2.5μmの微小粒子状物質を32m³(約8畳)の密閉空間で99%除去する時間が90分以内であること。32m³(約8畳)の試験空間に換算した値です。

以上



---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---